

皮膚ガン検診のお知らせ

癌（ガン）と聞くと非常にコワイ病気と思われる方が多いと思いますが皮膚（ヒフ）に生じるガンは外から観察可能であり内臓のガンに比べ転移（体のほかの部位に広がること）しにくいので手遅れになる前に適切に処置すればなんら恐れる必要はありません。

しかし皮膚ガンにおいても時にして治療時期が遅れることにより重大な結果をまねいてしまうケースも残念ながら見受けられます。病院にかかるのがおっくうだったり見せるのがハズカシいからというような理由で診断が遅れることが多いようです。

当院では大事にいたる前に正確な診断を行い適切な治療を行う目的でダーモスコピーを用いた皮膚ガン検診を行っております。下記のような症状をお持ちの方々は一度診察を受けてみてください。

- 1) 以前からあったホクロが大きくなり、まわりに黒色または茶褐色がしみだすように見えるようになってきた。
- 2) 以前からあったホクロのまわりが白く輪のようになってきた。
- 3) 以前からあったホクロが黒い部分と白い部分に分かれてきた（濃淡不正）。
- 4) 以前からあったホクロの辺縁（ふちの部分）がギザギザになってきた。
- 5) 顔にあるシミがまわりに広がってきた。
- 6) 顔にあるカサブタ様のものが少しづつ大きくなりながら辺縁（ふちの部分）が少しもりあがってきた。
- 7) 唇（くちびる）にあるカサブタが治りにくく、カサブタを取ると血が出ることもある。
- 8) 口の中に白く見える部分がありそれを取ると血が出ることもある。
- 9) むかし火傷（やけど）をした部位から角（つの）のようなものがはえてきた。
- 1 0) 体のどこかになかなか治（なお）りにくい湿疹（しっしん）がある。
- 1 1) 体のどこかになかなか治（なお）りにくいキズがある。
- 1 2) 生まれつき頭に脱毛部位があったのだが最近盛り上がってきた。
- 1 3) 乳首に治（なお）りにくいキズがあり血が出ることもある。
- 1 4) わきの下にサーモンピンク色の平たい湿疹（しっしん）がある。
- 1 5) 陰部にサーモンピンク色の平たい湿疹（しっしん）がある。
- 1 6) その他皮膚に気になる症状をお持ちの方。